



年間テーマ	・砂の探究活動
探求テーマ	・砂に触れる。

子どもの姿	・一人でじっくりと砂の感触や大きさ、量を考えたり、友達と相談をしながら遊びを工夫したりする姿が見られた。
「問い」を考える	・砂には固さや大きさがあるのか。 ・砂を使ってどのように遊びを工夫していくか。
活動をデザインする	・一人の遊びと複数での遊びでは工夫の仕方によいような違いがあり、楽しむのか。
環境をデザインする	・砂を耕さずそのままの状態の部分と遊びやすいように耕して柔らかくする。
小グループを構成する	・一人や少人数の友達と人数や組み合わせは子ども達の自由にする。
振り返り	・砂の状態により固さや大きさが違うことがあることに気がつく。大きさがあることに気がつくときより大きいものを見つけようとする姿が多く見られ、子どもは大きいもの、多いものが好きなのかなと感じた。また、友達と好きな道具を使って遊ぶことでそれぞれの意見を出し合うことや耳を傾けることの大切さや楽しさに繋がることを改めて感じた。

子どもの言葉・姿	写真
<p>(1)</p> <p>「なに作る？」</p> <p>・皆で相談をしながら、何を作ろうか相談をしている。身近なカップやローラなどを自分達で持ってきて、道具を使い何を作ろうか相談をする。一人が落ちていた木の实を持ってくると、皆でどのように遊びで使おうか話ながら、遊びを広げる。</p>	
<p>(2)</p> <p>「砂の塊あった！」</p> <p>・足元を見て、砂が固まっていること、大小さまざまな塊があることを発見。小さい塊を潰したり、大きな塊を見つけたりすることを集中して楽しむ。</p>	
<p>(3)</p> <p>「大きなケーキ作ろう」</p> <p>・バケツに砂をたくさん入れてひっくり返し、大きなケーキを作る。砂の量でうまくできることに気がつく。</p>	